

ご葬儀はあんしんの葬儀保険で ご家族もひとりの私も安心

みんなのキズナ

健康告知が不要の定期保険

無告知型葬儀保険

ご契約のしおり・重要事項説明書

普通保険約款

葬儀保険
みんなのキズナ



《 目 次 》

ご契約のしおり

主な保険用語のご説明	5
お願いとお知らせ	6

重要事項説明書

契約概要	13
注意喚起情報	17
個人情報のお取扱い	21

普通保険約款

この保険の趣旨	25
1. 用語の意義	
第1条（用語の意義）	25
2. 会社の責任開始日	
第2条（責任開始日）	25
第3条（保険証券）	26
第4条（保険期間）	26
3. 保険金の支払	
第5条（保険金の支払）	26
4. 保険契約の取消しおよび無効	
第6条（詐欺による取消し）	27
第7条（不法取得目的による無効）	27
5. 加入条件および保険契約の解除	
第8条（加入条件）	27
第9条（加入条件違反による解除）	27
第10条（加入条件違反による解除ができない場合）	27
第11条（重大事由による解除）	28
6. 保険料の払込、払込の猶予および保険契約の失効	
第12条（保険料の払込回数）	28
第13条（保険料の払込方法）	28
第14条（保険料の払込方法<経路>）	29
第15条（保険料の払込の猶予期間および保険契約の失効）	29
第16条（保険料の払込の猶予期間中の保険事故）	29
7. 保険契約の復活	
第17条（復活）	30
8. 契約者配当金	
第18条（配当金）	30
9. 保険契約の解約または口数の変更	
第19条（解約または口数の変更）	30
10. 保険金の支払の時期および場所	
第20条（保険金の支払時期、場所）	30
11. 契約内容の変更	
第21条（保険契約者の変更）	31
第22条（保険契約者の住所の変更）	31
第23条（保険金受取人の指定・変更）	31
第24条（遺言による保険金受取人の変更）	32

第25条（保険金受取人の代表者）	32
12. 年齢の計算・年齢および性別の誤りの処理	
第26条（年齢の計算）	32
第27条（年齢および性別の誤りの処理）	32
13. 保険金等の請求手続	
第28条（請求手続）	32
14. 時効	
第29条（時効）	33
15. 保険期間中の保険料の増額または保険金の減額	
第30条（保険料の増額または保険金の減額）	33
16. 保険契約の更新	
第31条（契約の更新）	33
17. 保険の種類の変更	
第32条（種類の変更）	34
18. 管轄裁判所	
第33条（管轄裁判所）	34
19. 保険契約の特約に関する事項	
第34条（保険金直接支払サービス特約の目的）	34
第35条（提携事業者）	34
第36条（提携事業者の指定および再委託）	34
第37条（特約の締結）	35
第38条（葬儀施行等の費用の支払）	35
第39条（特約の解除）	35
第40条（特約の更新）	35
第41条（特約の消滅）	35
第42条（普通保険約款の規定の準用）	35

無告知型定期保険
「みんなのキズナ」(1年更新型)

ご契約のしおり

《 目 次 》

ご契約のしおり

1. 主な保険用語のご説明…………… (5)
2. お願いとお知らせ…………… (6)

無告知型定期保険「みんなのキズナ」（1年更新型）

ご契約のしおり

「ご契約のしおり」では、約款に記載されている内容やその他のたいせつな事項（加入条件選択の重要性、保険のしくみ、諸手続の方法や税金など）をわかりやすく説明しています。

主な保険用語のご説明

- **保険契約者**
保険会社と保険契約を結び、ご契約上の様々な権利（契約内容の変更などの請求）と義務（保険料を払込む義務）を有する人です。
- **被保険者**
保険の対象として、保険（保障）がつけられている人です。
- **受取人**
保険金を受取る人のことです。
- **保険金**
被保険者が支払事由に該当されたときに、保険会社から受取人に支払われるお金のことで、死亡保険金のことをいいます。
- **保険料**
保険契約者が、保険会社に払込むお金のことです。
- **解約返戻金**
保険契約を解約した場合に、保険契約者に返戻されるお金のことです。
- **契約年齢**
契約日における被保険者の満年齢。更新後の年齢は年単位の契約応当日ごと契約年齢に1歳ずつ加えて計算します。
- **告知義務**
保険契約者と被保険者には、保険契約のお申込をするときに、現在の健康状態・過去の傷病歴など、保険会社がおたずねする重要なことごとについて、事実をありのままに報告していただく義務があります。その義務を告知義務といいます。
- **失効**
保険料の払込猶予期間を過ぎても保険料のお払込がなく、保険契約の効力が失われることです。
- **支払事由**
約款で定める、保険金をお受取いただける事由を言います。
- **責任開始期**
保険会社が契約上の保障開始する時点をいいます。
- **責任開始日**
保険会社が保険契約上の責任を開始し、保障が始まる日のことをいいます。
- **契約日**
契約年齢や保険期間を計算する際の基準日のことです。
- **契約応当日**
契約日に対応する日のことで、保険期間内の毎月1日になります。
- **保険期間**
保険会社が保険契約上の責任を負う義務がある期間のことをいい、契約日から起算して1年をいいます。

- **保険契約の更新**

保険期間が満了した場合に、引き続き保障を継続することができる制度です。

- **払込期月**

毎回の保険料の払込期間をいい、契約日に応答する月の初日から月末までです。

- **保険証券**

契約した保険金額・保険料・保険期間などの契約内容を具体的に記載したものです。支払事由に該当されても、免責事由に該当していれば、保険金・給付金等をお受取いただくことはできません。

- **免責事由**

約款で定める、保険金をお受取いただけない事由をいいます。

- **約款**

保険会社と保険契約者との間の保険金のお支払、保険料の払込など、保険契約の内容を定めたものです。

- **特約**

主契約に付加して契約することにより、主契約の保障内容を充実させることができます。主契約によっては複数の特約を付加することができますが、特約のみで契約することはできません。

お願いとお知らせ

お申込にあたって

お申込の際は、必ず事前に「ご契約のしおり」「重要事項説明書」および「普通保険約款」をご確認ください。当社では、少額短期保険募集人による対面募集、通信販売やインターネット販売による非対面募集により保険契約の募集をしています。「ご契約のしおり」「重要事項説明書」および「普通保険約款」に記載された内容にご不明な点がある場合には、当社代理店の少額短期保険募集人もしくはお客様相談室（☎0120-685-336）までお問合せください。

加入条件について

- この保険は無告知型の定期保険で癌、脳疾患、心臓疾患等の有病者で現在、治療中でも、お客様の加入時の健康状態が入院もしくは入院予定がないこと（入院とは、医師による治療が必要で病院または入院に必要な施設を有する診療所・介護老人ホーム等で常に医師の管理下において治療に専念していることや検査入院をいいます。また、退院後も再入院や転院が予定されている場合、当初予定の入院期間が未了での途中退院や在宅等のホスピスを受けている場合も含みます。）、余命宣告されていないことや申込者が自身で加入の意思判定（加入の意思判定ができることは、保険契約、意向確認の内容の理解が可能で加入に対する意思表示ができる状態をいいます。）ができれば加入できます。

申込書は、ご自身で正確にご記入ください。【重要】

- 申込書は、法人契約を除いて必ず申込者（保険契約者＝被保険者）ご自身で記入していただきます。記入にあたっては、加入条件に合致しているかどうか、内容を十分にご確認のうえ、申込者ご自身で記入、署名、捺印してください。申込者ご本人でないと判明した場合、ご契約は無効となります。

受取人が3親等内の親族を超える場合

受取人がお客様の何らかの事情で、通常、当社の規定している3親等内の親族範囲を超える場合は、ご契約時に「事情報告書」をご提出いただくことで、内縁関係・LGBT・おひとり様等でもご契約いただけます。詳細については、当社代理店の少額短期保険募集人もしくはお客様相談室（☎0120-685-336）までお問合せください。

1年間の保険料は、契約日の満年齢に応じて決まります。

- 新規にご契約いただく場合、保険料は、契約日の満年齢に応じた額となります。申込日から契約日までの間に年齢が変わる場合はご注意ください。
- 更新される場合の保険料は、更新日（契約日）ごとに、その時点の満年齢に応じた額となります。

保険料の払込回数および解約時の対応

- この保険の払込回数は、年払のみとなります。保険契約期間中に保険契約の解約があった場合には、その経過月数に応じた解約返戻率（普通保険約款参照）に乗じた解約返戻金を返戻いたします。

加入条件に合致していないと、保険金をお支払できないことがあります。

- この保険は、癌、脳疾患、心臓疾患等の有病者の方でも一定の加入条件に合致してさえいれば、健康告知をすることなく加入が出来て、保険期間中にお亡くなりになった場合には、決められた死亡保険金をお支払いするため、保険料は通常の告知ありの商品と比較すると割増になっております。有病者の方も加入し易くなっている反面、会社が加入の判断をする加入条件に嘘の申告があった場合、「加入条件義務違反」として保険金がお支払いできない場合がありますのでご注意ください。
- 加入条件に対するお客様の申告は、申込書の中の「加入条件確認」にお申込者ご自身でご記入いただくことでお受けいたします。少額短期保険募集人やお客様相談室の担当者も健康告知や加入条件に関しては一切受領いたしませんので、ご理解ください。

所定の手続が終了したときから、保障は始まります。

- 少額短期保険募集人は、お客様と当社の保険契約締結の媒介を行う者で、保険契約締結の代理権はありません。お客様からの保険契約のお申込に対して当社が承諾した場合に保険契約者宛に承諾通知を送付し、第1回保険料が口座振替により払込まれるかクレジットカード決済が完了した日から当社は保険契約上の責任を開始します。

保険金の初年度免責がございます。

- この保険は、初年度の契約日から3か月以内で病気死亡された場合には保険金をお支払いできません。

保険金をお受取いただいた際の保険料の取扱いについて

- お申込者が初年度の免責以降に亡くなられたことにより保険金をお受取いただいた際の年払保険料の未経過分については、お戻しいたしませんのでご注意ください。

払込猶予期間内に払込がないと、保険契約の効力がなくなります。

- 保険料は払込期月中に払込ください。なお、払込期月中に払込がない場合でも、猶予期間（払込期月の翌月初日から月末まで）がありますが、保険料の払込がないまま猶予期間を過ぎますと、保険契約は効力を失います（失効）。保険契約の効力を失った場合に保険契約を復活することはできません。

保険金の請求は、まずお客様相談室にご連絡ください。

保険金の支払事由が発生した場合は、以下に記載するお手続に従って、保険金をご請求ください。

ご請求は簡単3ステップ

①

【保険契約者、保険金受取人】
お客様相談室（☎ 0120-685-336）にお電話ください。

▼ご請求に必要な書類を郵送します。

②

【保険金受取人】
ご請求に必要な書類をご準備の上ご返送ください。

▼お支払の可否に関する審査をします。

③

ご指定の金融機関口座に保険金をお支払いいたします。

注意：保険金を請求する権利は、支払事由発生日から3年間請求がない場合は消滅いたします。

■お支払の可否に関する査定

お支払の査定については、完備した保険金の請求書類が当社に到着した後、査定を開始いたします。なお、以下のい

れかについて、ご提出いただいた請求書類等から保険金のお支払の可否が判断できない場合は、事実の確認を行うことがあります。また、事実の確認を行うときは、保険金請求者に文書にて通知いたします。

- | |
|---|
| ①保険金の支払事由発生の有無の確認が必要な場合
②死亡の原因となった疾病の発病時期、傷害の受傷時期の確認が必要な場合
③加入条件義務違反に該当する可能性がある場合
④「約款」に定めてある重大事由、詐欺または不法取得目的に該当する可能性がある場合 |
|---|

■保険金の支払時期

完備した保険金の請求書類が当社に到着した日（以下「請求書類到着日」といいます。）を基準として、原則、以下に定める期限内に保険金をお支払いいたします。

事実の確認の有無	支払期限
事実の確認を行わない場合	請求書類到着日の翌日から5営業日
事実の確認を行う場合	請求書類到着日から45日を経過する日
事実の確認に際し、特別な照会や調査*が必要な場合	請求書類到着日から180日を経過する日

*特別な照会や調査とは、「弁護士法（昭和24年法律第205号）に基づく照会その他の法令に基づく照会」、「研究機関等の専門機関による医学または工学等の科学技術的な特別な調査、分析または鑑定」および「送致、起訴、判決等の刑事手続の結果についての警察、検察等の捜査機関または裁判所に対する照会」のことをいいます。

なお、事実の確認にお時間を要する場合、上記の支払期限を超えて保険金をお支払いすることがあります。その場合は、支払期限の翌日から支払日までの会社所定の利率で計算した遅延利息を付利して給付金・保険金を支払します。

保険金等をお支払できないことがあります。

- ・契約日より3か月以内に病気でお亡くなりになった場合
- ・加入条件が事実と相違し、保険契約が加入条件義務違反により解除となった場合
- ・保険金を詐取する目的で事故を起こしたときなど、重大事由により保険契約が解除された場合
- ・ご契約について詐取行為があった場合や、保険金の不法取得目的を理由に保険契約が無効になった場合
- ・地震、噴火、津波または戦争その他の変乱が原因で、一時に保険金の支払事由が発生して、保険金支払のための財源が不足した場合
- ・保険料の払込がなくご契約が失効した場合
- ・その他、保険金の免責事由に該当した場合

保険契約の解約または口数の変更について

- ・ご契約者は、いつでも将来に向かって保険契約を解約または口数を減少することができます。なお、解約または口数を減少した場合、未経過期間の保険料に関しては普通保険約款の解約返戻率に従い返戻いたします。また、年払契約での口数の減少は、保険契約の更新時にのみ行います。

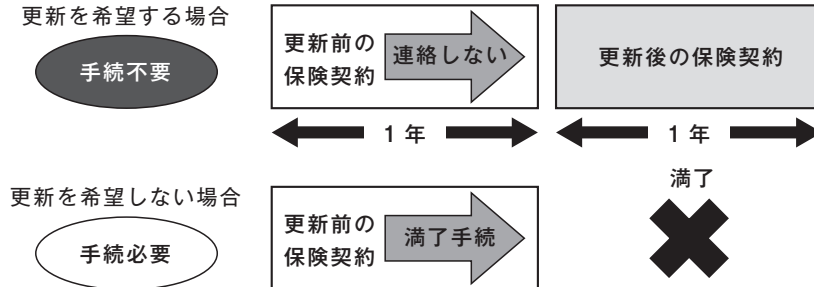
保険契約の更新について

- ・この保険は、保険契約者が保険期間満了日までに保険契約を継続しないお手続きを行わない限り、保険期間の満了日の翌日（以下「更新日」といいます。）に更新し継続いたします。（更新日における被保険者の満年齢が100歳となる場合を除きます。）なお、保険契約者の選択（加入条件確認等）を行いませんので、この保険をご契約いただいた後に被保険者がいかなる加入状態の場合でも契約当初の加入条件に違反していなければ、安心してご契約をご継続いただくことができます。また、2年目以降の契約の場合、病気死亡による初年度免責はございません。

更新後の保険契約について

- 保険期間は、更新日から1年です。
- 保険料は、更新日において当社が使用する保険料率に基づき、更新日における被保険者の満年齢によって計算します。
- 更新日において当社が使用する普通保険約款を適用します。

《保険契約が満了する際におけるお手続き》



保険内容の各種変更については、まずお客様相談室にご連絡ください。

- ①各種契約内容変更事由の発生
- ②お客様相談室（☎ 0120-685-336）にご連絡ください。お手続きの方法をご説明のうえ、必要な書類を手配いたします。
- ③書類が整いましたら、会社宛お送りください。
- ④当社にて契約内容の変更実施

取扱可能な契約内容の変更等

保険契約者・被保険者・受取人の住所（通信先）の変更	保険料の払込方法〈経路〉の変更
保険契約者の変更、改姓名、訂正	保険証券の再発行
被保険者の改姓名、訂正	保険契約の解約
保険金受取人の指定・変更	保険契約の満了
保険契約のプラン変更	特約の変更

契約内容の変更等のお申出の窓口

あんしん少額短期保険株式会社 お客様相談室

☎ 0120-685-336 受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

保険証券の管理

- 保険証券は、将来のあらゆる手続に必要となります。この冊子とともに大切に保管してください。なお、保険契約を更新しても、新たな保険証券を発行しません。ご契約締結時に発行する保険証券と更新案内通知をもってご契約を証することとしますので、保険契約の更新後も大切に保管してください。なお、紛失等で保険証券がなくなった場合はいつでも再発行いたします。

管轄裁判所について

- この保険契約における保険金の請求に関する訴訟については、会社の本社または保険金の受取人（保険金の受取人が二人以上いるときは、その代表者として）住所地を管轄する高等裁判所（本庁とします。）の所在地を管轄する地方裁判所（本庁とします。）をもって、合意による管轄裁判所とします。ただし、責任開始日（更新契約を除く）からその日を含めて1年以内に発生した事由に基づく保険金の請求に関する訴訟については、会社の本社の所在地を管轄する地方裁判所のみをもって、合意による管轄裁判所とします。

保険金直接支払サービス特約の付加について

- この特約を付加いただいた場合、当社の提携葬儀社であるアルファクラブグループや小さなお葬式の葬儀会館（全国4千箇所以上）からご利用希望の会館が選べて、無料で事前相談ができます。また、事前に葬儀の内容が決めるため突然のご葬儀が発生しても内容や料金のことで困ることはありません。
- 葬儀の施行後の費用のご精算も死亡保険金にて行えますので遺されたご家族にご面倒掛けることもございません。特に、ご家族にご葬儀のことで面倒を掛けたくないとお考えの方やおひとり様でご自身の葬儀をどうしようかお悩みの方には非常に便利なシステムです。
- ご契約者は、無料でこの特約を付加することができます。なお、この特約はご契約中お客様の都合でいつでも解約、再付加ができます。また、解約の際に解約手数料もありませんので本契約をお申込の際に、是非あわせてお申込ください。

無告知型定期保険
「みんなのキズナ」(1年更新型)

重要事項説明書

注意事項説明書

1. 契約概要	(1 3)
2. 注意喚起情報	(1 7)
3. 個人情報のお取扱い	(2 1)

無告知型定期保険「みんなのキズナ」(1年更新型)

重要事項説明書

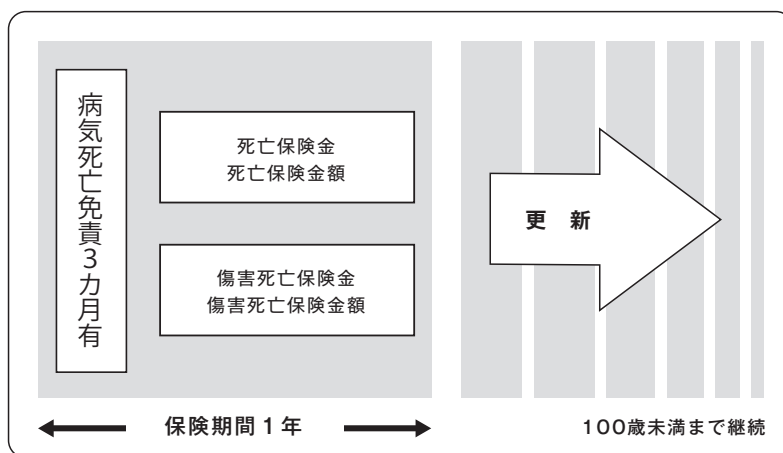
「重要事項説明書」には、保険契約のお申込に際して特に注意をしていただきたい事項を記載しています。お申込の前には必ずご一読いただき、内容を十分にご理解の上お申込ください。なお、支払事由や制限事項に関する詳細等の契約内容にかかわる取決めは「ご契約のしおり・普通保険約款」をご確認ください。

契約概要

「契約概要」には、商品内容等を理解していただくために必要な情報をまとめて記載しています。お申込の際は、「注意喚起情報」とあわせてお読みください。

商品のしくみ

無告知型定期保険「みんなのキズナ」は、保険期間中に被保険者が疾病または傷害により万一お亡くなりになった場合に死亡保障のみを保障する一年更新型で配当金・解約返戻金のない保険です。この保険は健康告知を取らず、被保険者の加入条件を確認してご加入いただくため、がん、脳疾患、心臓疾患等の現症お持ちの方でも加入時に入院・入院予定等がなければご加入できますが、その分保険料は割増となっております。また、この保険の特約として「保険金直接支払サービス特約」無料で付帯しており、日本全国の葬儀社の提携先が事前予約出来て、保険金で葬儀代を相殺することができますのでおひとり様でも葬儀に困ることはありません。なお、お客様にお支払いただく保険料は、更新年齢により暫増いたします。



※最初にこの保険にご加入いただく際にご契約日以後3か月以内に病気でお亡くなりになった際は、死亡保険金は免責(保険料は返金致しません。)になります。なお、傷害死亡は支払い対象となり、保険契約が2年目以降継続する場合、病気死亡による3カ月免責はございません。

保障内容

【保険金をお支払する場合】

保険金をお支払する場合（支払事由）は次の通りです。
 詳細については「ご契約しおり・普通保険約款」等でご確認ください。

保険金の名称	支払事由
死亡保険金	被保険者が、責任開始日以後の保険期間中に死亡したとき

【保険金をお支払できない場合】

保険金をお支払できない場合（免責事由）次の通りです。
 詳細については「ご契約のしおり・普通保険約款」等でご確認ください。

保険金の名称	保険金をお支払できない場合（免責事由）
死亡保険金	以下のいずれかの支払事由に該当したときは、死亡保険金をお支払できません。 ①最初の責任開始日から3年以内の被保険者の自殺 ②保険契約者が被保険者を故意に死亡させたとき（前号に掲げる場合を除きます。） ③保険金受取人が被保険者を故意に死亡させたとき（前2号に掲げる場合を除きます） ④戦争その他の変乱によって被保険者が死亡したとき ⑤契約日からその日を含めて3か月以内に疾病で死亡したとき

【給付金・保険金をお支払することができない場合（加入条件義務違反・重大事由等）】

次のいずれかの事由が発生したときは、保険金をお支払することができません。

<ul style="list-style-type: none"> ①加入条件に虚偽の申告がされ、加入条件義務違反により保険契約が解除された場合 ②詐欺目的で保険金を請求するなど、重大事由により保険契約が解除された場合 ③詐欺により保険契約を締結し、保険契約が取り消された場合 ④不法取得目的により保険契約を締結し、保険契約が無効となった場合
--

保険期間

保険期間は、契約日から起算して1年です。

【保険契約の更新】

保険契約者から保険契約を継続しない旨の申し出がなく、保険期間満了日の翌日（以下「更新日」といいます。）における被保険者の満年齢が100歳未満である場合は、保険契約は、更新日に更新いたします。更新後の保険契約には、更新日において当社が使用する普通保険約款を適用し、更新後の保険料は、更新日における被保険者の満年齢にもとづき、更新日において当社が使用する保険料表によって計算します。

加入条件

この保険にご加入いただける方は、意向確認書で以下に示した加入条件を満たしている方にご加入いただけます。

- (1) 被保険者が入院中、入院予定がなくかつ余命宣告を受けていない状態であること
 ※入院中とは医師の許可を得て退院したが、再入院や転院が予定されていること、医師の許可を得ず入院途中で退院したが、入院当初予定されていた入院期間が終了していないこと、在宅ホスピスもしくは特別養護老人ホーム等で寝たきりの状態であること等をいいます。
- (2) 被保険者自身で保険契約の加入意思を示せること（例えば、認知症等と診断されていないこと）
 ※加入条件は、被保険者自身で記載をしていただきます。健康告知も受領いたしませんので、この保険の加入にあたっては、被保険者ご自身の責任と判断にてお願いいたします。

引受条件

保険契約のお引受にあたっては、次の条件があります。

- ①被保険者は下記の保障限度額内であれば複数口もしくは当社の他の保険商品もあわせて加入が可能です。ただし、インターネットでのお申込の場合、すでに当社の他の商品に加入されている場合は、重複してお申込をお引受けすることは出来ません。
- 死亡保険金額 1口/10万円単位とし10口/100万円の範囲内
- ②契約日における被保険者の満年齢が40歳以上79歳まで新規契約のお引受けをし、満99歳まで更新契約のお引受けをいたします。
- ③過去の申込経緯や契約状況によってはお申込の引受けをお断りすることがあります。

【引受け時における保険契約者の本人確認】

保険契約が成立した後、お申込の際にご登録いただいたご住所宛に、保険証券をご本人限定受取の書留郵便で発送いたします。当社では、保険証券を保険契約者ご自身がお受けいただいたことをもって、本人確認を行っています。書留郵便で発送される保険証券をお受けいただけない場合、保険契約者ご自身の本人確認ができないことにより、保険契約の成立は無効となりますので、ご不在票等がポストに投函されていた際は、期日までに必ず保険証券をお受けください。尚、無効になった際の保険料は、全額ご返金いたします。

【契約者・受取人の引受け範囲について】

この保険は、契約者と被保険者が同一人（申込人）でのお申込となります。しかしながら、受取人の引受け続柄の範囲は、原則として申込人から3親等内の親族とし、何らかの事情によりその範囲を超える、内縁関係・LGBT・おひとり様等の場合は、保険申込書と一緒にご提出いただく「事情報告書」の内容によりお引受けします。

【保険金の削減支払】

急激に保険金のお支払が増加し、著しく当社の収支が悪化したときは、保険金を削減してお支払をすることがございます

保険料

保険料は、契約日または更新日における被保険者の満年齢によって計算します。保険料については、パンフレットまたは当社のホームページ（<http://www.ansin-ssi.com>）をご覧ください。

【保険期間中の保険料の増額または保険金の減額】

保険期間中であっても、著しく急激に当社の収支が悪化した場合は、保険料を増額や保険金額を減額することがあります。

【年払保険料の取扱】

途中解約をされた場合は、保険契約の残りの期間に符合する未経過保険料をお戻しいたしますが、保険金をお支払いした場合は、保険契約の残りの期間があった場合でも未経過保険料はお戻しいたしません。

保険料の払込

保険料の払込期間は1年です。保険料は、次の方法（経路・回数）によりお払込ください。

【保険料の払込方法（経路）】

次のいずれかの保険料の払込方法（経路）を選択してください。

- ①クレジットカードによりお払いいただく方法
②預金口座から口座振替によりお払いいただく方法

①でお支払いいただく場合、お客様のご都合でご指定のクレジットカードでお支払ができなくなった場合には、ご利用可能な他のカードに変更いただくか、②のお支払方法に変更していただくことがございます。

また、①または②の方法により保険料をお払込できない場合は、次の方法により保険料をお払込ください。

- ③金融機関等の当社が指定した預金口座に送金することによりお払いいただく方法

保険料の払込方法（回数）は年払となります。

保険料は、保障する月の1日から末日までにお払込ください。

プラン変更について

この保険は、お客様のご希望により更新契約を行う際に口数の減少を行うことができます。なお、一度口数の減少を行うと口数の増加をすることはできないためご注意ください。お客様のライフプランにより最適な保障をお選びください。

配当金

この保険には、配当金はありません。

解約返戻金


ご契約者は、いつでも将来に向かって保険契約を解約することができますが、この保険には、解約返戻金はありません。

保険金直接支払サービス特約について

この保険金直接支払サービスは、この保険をご契約いただいたご契約者・被保険者・受取人の方に、当社の提携葬儀社からご葬儀に関わる有用な情報やサービスの提供、葬儀代や死亡保険金請求に関わるわずらわしい手続を代行するサービスですので、この保険をご契約の際は、是非この特約をあわせてご契約ください。ご契約者は、無料でこの特約を付加することができます。なお、この特約はご契約中、お客様の都合でいつでも解約、再付加ができます。また、解約の際に解約手数料もございません。

保険商品に関するお問い合わせ窓口

あんしん少額短期保険株式会社 お客様相談室

 0120-685-336 受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

注意喚起情報

「注意喚起情報」には、ご契約に際して特にご注意をいただきたい情報をまとめて記載しております。お申込の際は、「契約概要」とあわせてお読みください。

クーリング・オフ

この保険は、1年満期につき申込の撤回（クーリングオフ）は適用しておりません。しかしながら、お客様の事情でやむを得ずお申込を撤回または保険契約を解除したい場合は、お申込をした後でも、責任開始日の前日までであれば下記までご連絡をお願いします。

お申込の撤回または保険契約を解除したい場合の窓口

あんしん少額短期保険株式会社 お客様相談室

☎ 0120-685-336 受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

この保険のお申込について

この保険をお申込いただく際には、どなたさまも、ご契約者と被保険者が同一人でお申込いただくこととなっております。ご契約者と被保険者が違う場合は、なりすまし契約として契約そのものが無効となりますのでご注意ください。

加入条件の内容

この保険は、お申込に際して、お申込人より告知をしていただく必要はございません。しかしながら、この保険に加入するための条件を設定しておりますので、お申込時にご記入いただく意向確認書にてお申込人のご加入時の状態が加入条件に合致しているかどうかだけをお知らせください。

【告知受領権】

この保険は、無告知型の保険のため、募集をする際に、お客様相談室の担当者や少額短期保険募集人がお客様より健康告知の受領はいたしません。必ず、加入条件に合致しているか否かだけご記入ください。

【保険金の請求時における確認】

当社の社員または当社が委託した調査会社の者が保険金の請求の際に加入条件や請求内容などについて確認する場合があります。

【加入条件義務違反】

お客様が申告された加入条件が、事実と相違している場合は、加入条件義務違反として保険契約を解除することがあります。加入条件義務違反により保険契約を解除した場合、たとえ支払事由が発生しても、保険金をお支払することができません。（ただし、保険金の支払事由と解除の原因となった事実が無関係であることを保険金の受取人が証明をしたときを除きます。）

※加入条件義務違反の内容が特に重大な場合、詐欺による保険契約の締結として、保険契約を取消します。この場合も保険金はお支払できません。

通知義務について

当社からご契約者へのお知らせが確実に届くようにするため、あるいは、ご契約者からの各種請求等に対して当社が迅速に対応できるようにするために、申込者、受取人の氏名・住所または連絡先に変更があった場合は、遅滞なく当社お客様相談室までご連絡ください。

責任開始日

お申込の引受を承諾した保険契約について、第一回目保険料を受領した日を責任開始日とし責任開始日から保険契約上の責任を負います。なお、会社は次に定める日を契約日とします。

（１）保険契約申込書類を郵便で提出し口座引落でお申込をされた場合

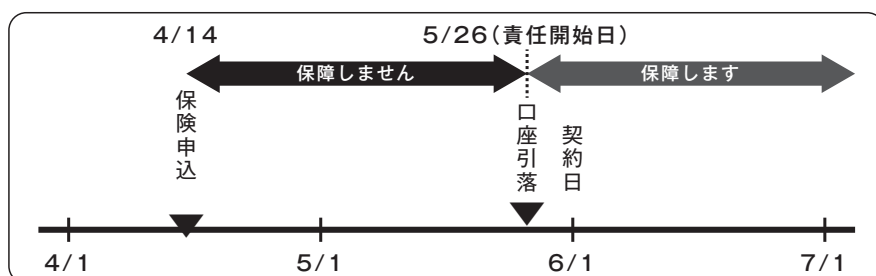
保険契約申込書類を封入した郵便物に押印された発送消印日を基準として、その日が属する月の翌々月１日

（２）保険契約申込書類を少額短期保険募集人に提出し口座引落でお申込をされた場合

保険契約申込書類を少額短期保険募集人が受領した日を基準として、その日が属する月の翌々月１日

(1) (2) の場合で4月中（締切日26日以前）にお申込された場合のスケジュール

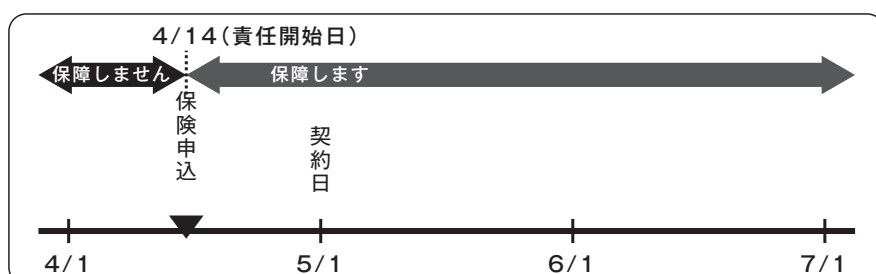
※契約日から3か月以内の疾病死亡は保険金支払いの免責となります。



(3) 《インターネット上に設けられた申込画面を通じクレジットカードでお申込をされた場合》

※契約日から3か月以内の疾病死亡は保険金支払いの免責となります。

申込画面に入力された申込内容を当社が受信した日を基準として、その日が属する月の翌月1日



(4) 《保険契約申込書類を郵便で提出もしくは少額短期保険募集人に提出しクレジットカードでお申込をされた場合》

会社が申込書を受領した5営業日以内にクレジットカード会社に会社が承認申請を求め、それが承認された日から会社は保障開始（責任開始）し、その承認された日の属する月の翌月1日

【第一回保険料の払込】

会社が保険契約の申込を承諾した場合、保険契約者は第一回保険料を会社の定めた日（口座振替日は26日とします。当該日が休日の場合は翌営業日となります。）に口座振替で支払うかクレジットカード支払（申込書類到着後5営業日以内）が出来なかったときは、保険契約が不成立となります。

給付金・保険金をお支払できない場合

重要事項説明書（契約概要）の中の保証内容【保険金をお支払できない場合（支払事由非該当、免責事由、告知義務違反・重大事由）】をご確認ください。

【保険金の削減支払】

急激に保険金のお支払が増加し、著しく当社の収支が悪化したときは、保険金を削減してお支払することがあります。

保険金の初年度免責について

この保険は、初年度の契約日から3か月以内で死亡された場合に保険金はお支払いできませんのでくれぐれもご注意ください。

保険金をお受取いただいた際の保険料の取扱について

お申込者が初年度の免責以降に亡くなられて決められた保険金をお受取いただいた際の年払保険料は、お戻しいたしませんのでご注意ください。

経営が破綻した場合の保険契約のお取扱

当社は、少額短期保険業者であり、万一経営破綻した場合は、保険契約者保護機構による資金援助等の保護はございません。また、保険契約も保険業法第270条の3第2項第1号に規定する同機構の補償対象契約には該当していません。

保険料の払込猶予期間および保険契約の失効

【保険料の払込期月と払込猶予期間】

保険料は、保障する月の1日から末日までに払ってください。なお、この期間を保険料の払込期月といいます。払込期月中に保険料を払いただけなかったとしても、払込期月の翌月1日から翌月末までに保険料を払いただければ、保険契約は有効に継続いたします。この期間を払込猶予期間といいます

【保険契約の失効】

払込猶予期間中に保険料を払いただけなかった場合、猶予期間満了日の翌日に保険は効力を失います（以下「失効」といいます）。保険契約が失効した後に保険金の支払事由が発生しても、その保険金はお支払をすることができません。なお、復活の手続きはお取扱をしておりません。保障を継続させる場合には、新たに保険契約をお申込まいただく必要があり、過去の契約経緯や再申込時の健康状態等によっては、お申込の引受をお断りする場合があります。払込猶予期間中の保険料の払込については十分にご注意ください。

【保険期間中の保険料の増額または保険金額の減額】

保険期間中であっても、著しく急激に当社の収支が悪化したときは、保険料を増額する場合や保険金額を減額することがあります。

現在契約中の保険契約の解約等

現在契約中の保険契約を解約や、保険金額を減額すると、次の点で不利益となることがあります。

新たにお申込まされる保険契約について、被保険者の健康状態等によっては、お申込の引受をお断りすることがあります。

法令等で注意喚起することとされている事項

【保険契約の更新について】

この保険契約の保険期間が満了する場合、当社より保険期間満了日の2ヵ月前までに「更新後の契約内容を記載した更新案内」をお送りし、保険契約者から保険期間満了日の1ヵ月前までに保険契約の継続をしない旨を通知しない場合、保険契約は更新され継続するものとします。ただし、更新後の保険期間満了日の翌日における被保険者の年齢が満100歳を超える場合には、更新できません。

【更新時における契約内容の変更】

保険契約を更新する際に、当社の収支が悪化したときは、更新後の保険契約の保険料を増額や、保険金額を減額することがあります。

【更新を引受しない場合】

保険契約を更新する際に、この保険が不採算となり、保険契約の更新の引受が困難であると認められるときは、保険契約の更新を引受しないことがあります。

【少額短期保険業者が引受する保険商品】

- ① 保険契約が生命保険または傷害疾病保険の場合、保険契約期間は1年以内です。
- ② 保険契約が生命保険の場合、1人の被保険者について引受する死亡保険金額の上限は300万円です。
- ③ 保険契約が生命保険の場合、1人（または1社）の保険契約者について引受するすべての被保険者の死亡保険金の上限は3億円です。

反社会的勢力に対する基本方針について

当社は、暴力、威力と詐欺的手法を駆使して経済的利益を追求する集団または個人、（いわゆる反社会的勢力）による被害を防止するために、反社会的勢力への対応体制を整備するとともに、反社会的勢力等との関係遮断、不当要求に対する拒絶等について、弁護士や警察等とも連携して、毅然とした姿勢で組織的に対応いたします。

苦情のお申出先およびご相談窓口

《あんしん少額短期保険の窓口》

苦情のお申し出やご相談については、あんしん少額短期保険株式会社お客様相談室までご連絡ください。

苦情や相談に関するお問い合わせ窓口

あんしん少額短期保険株式会社 お客様相談室

 0120-685-336 受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

《日本少額短期保険協会の窓口》

保険契約にかかる指定紛争解決機関は、一般社団法人日本少額短期保険協会です。同協会の「少額短期ほけん相談室」では、少額短期保険に関するさまざまなご相談・ご照会・苦情を受付けています。なお、苦情を受付けてから1ヵ月を経過した後も未解決の案件については、裁定委員会を開催し、和解の仲裁・裁定（和解案の作成）を行っています。

一般社団法人日本少額短期保険協会 少額短期ほけん相談室

 0120-82-1144 受付時間 9:00～12:00, 13:00～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

所在地：〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-12-8 2階

URL：<http://www.shougakutanki.jp/general/consumer/consult.html>

個人情報のお取扱い

よりよいサービスの提供を目指して、お客様からお預かりする個人情報については細心の注意をはらって適切にお取扱いするとともに、安全性・正確性・機密性の確保に最大限努めます。

お客様の個人情報の利用目的について

当社は、本契約に関するお客様の個人情報を次の目的のために必要な範囲内で取得・利用いたします。なお、本契約に関する個人情報の利用目的の達成に必要な範囲内で、業務委託先および提携事業者に提供することがあります。

- ①各種保険契約の引受・契約の維持管理、保険金・給付金の支払
- ②関連会社・提携会社・提携葬儀社を含む各種商品・サービスの案内及びその提供
- ③当社業務に関する情報提供・商品・サービスの充実
- ④再保険契約の締結、再保険契約に基づく通知及び再保険金の請求
- ⑤その他の保険に関連・付随する業務

機微（センシティブ）情報のお取扱い

保健医療等の機微（センシティブ）情報については、保険業法施行規則により利用目的が限定されています。当社は、事業の適切な業務運営を確保するために、お客様の同意に基づき業務遂行上必要な範囲で、お客様の健康状態・身体の障害状態、過去の病歴等の機微（センシティブ）情報を取得・利用いたします。

また、保険契約のお引受け、内容変更、および保険金のお支払等の審査に際して、その可否について、その理由を含めて、必要最小限度の範囲でお客様の機微（センシティブ）情報を契約者・受取人および少額短期保険募集人（保険代理店を含む）にお知らせすることがあります。

個人情報保護宣言

当社は、個人情報のお取扱いについて、個人情報保護宣言を定め、お客様の個人情報を適切にお取扱いするとともに、安全性・正確性・機密性の確保に最大限努めます。なお、個人情報保護宣言については、当社のホームページ（<http://www.ansin-ssi.com>）をご覧ください。また、個人情報の開示・訂正等に関するご請求や当社の個人情報のお取扱いに関するお問合せは以下の窓口にて承ります。

個人情報に関するお問合せ窓口

あんしん少額短期保険株式会社 お客様相談室

☎ 0120-685-336 受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

支払時情報交換制度

給付金または保険金（以下「保険金等」といいます。）のご請求に際して、お客様の契約内容を照会することがあります。当社は、一般社団法人日本少額短期保険協会、一般社団法人日本少額短期保険協会加盟の各少額短期保険業者および特定の損害保険会社（以下「各少額短期保険業者等」といいます。）とともに、保険金等のお支払の判断または保険契約の解除、取消もしくは無効の判断（以下「お支払等の判断」といいます。）の参考とすることを目的として、「支払時情報交換制度」に基づき、当社を含む各少額短期保険業者の保有する保険契約等に関する下記の相互照会事項記載の情報を共同して利用しています。

保険金のご請求があった場合や、これらにかかる保険事故が発生したと判断される場合に、「支払時情報交換制度」に基づき、相互照会事項の全部または一部について、一般社団法人日本少額短期保険協会を通じて、他の各少額短期保険業者に照会をなし、他の各少額短期保険業者からの情報提供を受け、また他の各少額短期保険業者からの照会に対し、情報提供をすること（以下「相互照会」といいます。）があります。

相互紹介される情報は、下記のものに限定され、ご請求にかかる傷病名その他の情報が相互照会されることはありません。また、相互照会に基づき各少額短期保険業者等に提供された情報は、相互照会を行った各少額短期保険業者によるお支払等の判断の参考とするために利用されることはありますが、その他の目的に利用されることはありません。照会を受けた各少額短期保険業者において、相互紹介事項記載の情報が存在しなかったときは、照会を受けた事実は消去されます。各少額短期保険会社等は「支払時情報交換制度」により知り得た情報を他に公開しません。

当社が保有する相互照会事項記載の情報については、あんしん少額短期保険株式会社が管理責任を負います。保険契約者、

被保険者または保険金の受取人は、当社の定める手続に従い、相互照会事項記載の情報の開示を求め、その内容が事実と相違している場合には、訂正を求めることができます。また、個人情報の保護に関する法律に違反して相互紹介事項記載の情報が取り扱われている場合、当社の定める手続に従い、当該情報の利用停止あるいは第三者への提供の停止を求めることができます。

上記各手続の詳細については、当社お客様相談室（☎0120-685-336）までお問合せください。

【相互照会事項】

照会事項	回 答 項 目
被保険者の氏名、生年月日、性別、住所（市区群）までとします。	保険種類、契約日、復活日、消滅日、保険契約者の氏名および被保険者との続柄、死亡保険金等の受取人の氏名、死亡保険金額、給付金日額、各特約内容、保険料および払込方法、照会を受けた日から5年以内に発生した保険事故にかかる保険事故発生日、死亡日、入院日、退院日、対象となる保険事故

※「支払時情報交換制度」に参加している各少額短期保険業者の会社名につきましては、一般社団法人日本少額短期保険協会ホームページ（<http://shougakutanki.jp>）をご覧ください。

無告知型定期保険
「みんなのキズナ」(1年更新型)

普通保険約款

《 目 次 》

普通保険約款

1. 用語の意義（第1条）	（25）
2. 会社の責任開始日（第2条～第4条）	（25-26）
3. 保険金の支払（第5条）	（26）
4. 保険契約の取消および無効（第6条～第7条）	（27）
5. 加入条件および保険契約の解除（第8条～第11条）	（27-28）
6. 保険料の払込、払込の猶予および保険契約の失効（第12条～第16条）	（28-29）
7. 保険契約の復活（第17条）	（30）
8. 契約者配当金（第18条）	（30）
9. 保険契約の解約または口数の変更（第19条）	（30）
10. 保険金の支払の時期および場所（第20条）	（30）
11. 契約内容の変更（第21条～第25条）	（31-32）
12. 年齢の計算・年齢および性別の誤りの処理（第26条、第27条）	（32）
13. 保険金等の請求手続（第28条）	（32）
14. 時効（第29条）	（33）
15. 保険期間中の保険料の増額または保険金の減額（第30条）	（33）
16. 保険契約の更新（第31条）	（33）
17. 保険の種類の変更（第32条）	（34）
18. 管轄裁判所（第33条）	（34）
19. 保険契約の特約に関する事項（第34条～第42条）	（34-35）

無告知型定期保険

普通保険約款

この保険の趣旨

この保険は、保険契約締結の際、被保険者の方に健康告知を求めない型の保険期間1年の定期保険で、保険期間中に被保険者が万一死亡された場合の保障を確保し、ご家族のご葬儀等に関わる経済的負担の軽減を図ることを主な目的とするものです。契約者・被保険者の希望により葬儀代金を直接「提携葬儀社」に支払うことができる「保険金直接支払サービス特約」の付加をすることもできます。

1. 用語の意義

第1条（用語の意義）

この普通保険約款における用語の意義は、次のとおりとします。

- (1) 「責任開始期」とは、会社が保険契約上の責任を開始する時期をいいます。
- (2) 「責任開始日」とは、会社が保障を開始し、保障が始まる日のことをいいます。
- (3) 「契約日」とは、契約年齢や保険期間を計算する際の基準日のことです。
- (4) 「契約応当日」とは契約日に対応する日のことで、保険期間内の毎月1日になります。
- (5) 「保険期間」とは、保険契約が有効な期間のことです。この期間内に支払事由が発生した場合に限り、会社から保険金が支払われます。契約日（保険契約が更新された場合は、更新日とします。）から起算して1年をいいます。
- (6) 「保険契約の更新」とは、保険期間が満了した場合に、引き続き保障を継続することができる制度です。
- (7) 「保険金」とは、死亡保険金をいいます。
- (8) 「払込期月」とは、保険料を払込む期間のことで、契約応当日の属する月の初日から末日までの期間をいいます。
- (9) 「特約」とは、主契約に付加して、契約することにより、主契約の保障内容を充足させることができます。主契約によっては、複数の特約を付加することができますが、特約のみで契約することはできません。

2. 会社の責任開始日・保険証券・保険期間

第2条（責任開始日）

1. 会社は申込締切日（毎月26日）までに完備した保険契約申込書類一式（以下「申込書類」といいます。）を受付して、その申込を承諾したときは、第一回目保険料を口座振替（毎月26日）、またはクレジットカード（以下、「カード」といいます。）支払で受領した日を責任開始日とし、責任開始日から保険契約上の責任を負います。
2. 会社は、次に定める日を契約日とします。
 - (1) 保険契約者が申込書類を郵便で会社に提出して第1回目保険料を口座振替で受領した場合
申込書類を封入した郵便物に押印された発送消印日を申込締切日（毎月26日）の基準として、その日が属する月の翌々月1日（第1回目保険料をカード支払で受領した場合は翌月1日）
 - (2) 保険契約者が申込書類を少額短期保険募集人に提出して第1回目保険料を口座振替で受領した場合
会社が申込書類を少額短期保険募集人より受領した日を申込締切日（毎月26日）の基準として、その日が属する月の翌々月1日（第1回目保険料をカード支払で受領した場合は翌月1日）
 - (3) 保険契約者が会社のインターネット上に設けられた申込画面から申込を行い、第一回目保険料を口座振替で受領した場合
申込画面に入力した申込内容を会社が受信した日を申込締切日（毎月26日）の基準として、その日が属する月の翌々

月1日（第1回目保険料をカード支払で受領した場合は翌月1日）

3. 会社が、前条の第1回保険料相当額を受け取った後に、保険契約の申込を承諾した場合には、次条に定める事項を記載した保険証券を保険契約者に交付し、これをもって承諾の通知とします。尚、保険契約の申込を承諾しない場合または保険契約の申込に対する承諾の判断に時間を要する場合は、その理由を明確にした上で責任開始日までに契約者に通知します。
4. 保険契約は、会社が前項の承諾の通知を発したときに成立するものとします。

第3条（保険証券）

1. 保険証券には、保険契約を締結した日は記載せず、契約日を記載します。尚、保険証券は、初年度契約だけ発行し、2年目の更新契約以後は、保険証券に替えて更新案内通知書を発行します。また、保険証券の内容が変更したときは、変更した内容を記載した新しい保険証券を発行し、保険証券を紛失・滅失したときは、契約者の請求により再発行をします。
2. 保険証券には、少なくとも次の各号に定める事項を記載します。
 - (1) 証券番号
 - (2) 保険契約の種類
 - (3) 保険契約の年月日
 - (4) 保険期間の始期および終期
 - (5) 保険料の金額、回数および支払方法
 - (6) 死亡保険金の支払事由
 - (7) 死亡保険金額
 - (8) 保険契約者の氏名または商号、生年月日
 - (9) 被保険者の氏名、生年月日
 - (10) 保険金受取人の氏名または商号
 - (11) 保険証券の作成年月日および作成地
 - (12) 会社名
 - (13) 特約の有無・付帯日・提携事業者名
3. 保険証券は、口座振替の場合、第一回目保険料を受領した翌月の中旬、カード支払の場合、カード会社の与信承認後1週間を目途に作成し、契約者にお送りします。

第4条（保険期間）

1. この保険契約の保険期間は、第2条（責任開始日）第2項に定める契約日から起算して1年とします。

3. 保険金の支払

第5条（保険金の支払）

1. この保険契約の保険金を支払う場合（以下「支払事由」といいます。）および保険金を支払わない場合（以下「免責事由」といいます。）は、次のとおりです。

支払事由	保険金			免責事由
	名称	支払額	受取人	
被保険者が責任開始期以後の保険期間中(保険料の払込猶予期間を含みます。)に死亡したとき。	死亡保険金	保険証券に記載された金額	保険金受取人	次のいずれかにより支払事由に該当したとき。 (1) 最初の責任開始期から3年以内の被保険者の自殺（保険契約の更新をした場合は更新前の最初の保険契約の責任開始日とします。） (2) 保険契約者が被保険者を故意に死亡させたとき（前号に掲げる場合を除きます。） (3) 保険金受取人が被保険者を故意に死亡させたとき（前二号に掲げる場合を除きます。）ただし、その者が死亡保険金の一部の受取人であるときは、その残額を他の受取人に支払います。 (4) 戦争その他の変乱によって被保険者が死亡したとき。 (5) 契約日からその日を含めて3か月以内に疾病で死亡したとき。

2. 被保険者の生死が不明の場合でも、会社が死亡したものと認めるときは、第1項の規定を適用して死亡保険金を支払います。
3. 会社は、保険金受取人が複数名で、保険金の受取割合が指定されているときは、その割合に従って保険金を保険金受取人に支払います。ただし、受取割合が指定されていないときは、平等の割合により保険金を保険金受取人に支払います。
4. 次の各号のいずれかによって死亡した被保険者の数の増加がこの保険の計算の基礎に影響を及ぼす場合は、会社は、その程度に応じて、保険金を削減して支払うことがあります。
 - (1) 地震、噴火または津波
 - (2) 戦争その他の変乱
5. 被保険者が死亡し、死亡保険金の免責事由に該当したときは、被保険者の死亡日に保険契約は消滅します。会社は、被保険者の死亡日を保険契約の消滅日とし、消滅した旨を保険契約者に通知します。会社が、消滅日以後に到来する払込期月に対応した保険料相当額を受受したときは、保険契約者に返還します。

4. 保険契約の取消および無効

第6条（詐欺による取消）

1. 保険契約者、被保険者または保険金受取人の詐欺または強迫により保険契約を締結したとき、会社は、保険契約を取消することができます。この場合、既に払い込まれた保険料は返還しません。

第7条（不法取得目的による無効）

1. 保険契約者が保険金を不法に取得する目的、または他人に保険金を不法に取得させる目的をもって保険契約を締結したときは、その保険契約は無効とし、既に払い込まれた保険料は返還しません。

5. 加入条件および保険契約の解除

第8条（加入条件）

1. 会社は、被保険者に、保険契約締結の際、支払事由の発生の可能性に関する重要な事項のうち、被保険者が、会社所定の加入条件に合致しているかどうかの確認を書面にて求めます。

第9条（加入条件違反による解除）

1. 前条の規定により、被保険者の故意または重大な過失により、会社所定の加入条件に虚偽の申告がされていた場合、会社は、将来に向かってこの保険契約を解除することができます。
2. 会社は、保険金の支払事由が発生した後も、前項の規定によって保険契約を解除することができます。この場合には、保険金を支払いません。既に保険金を支払っていたときは、その返還を請求することができます。
3. 保険金の支払事由の発生が、保険契約解除の原因となった事実によらなかったことを、保険契約者、被保険者または保険金受取人が証明したとき、会社は、保険金を支払います。
4. 本条の規定によって保険契約を解除するとき、会社は、保険契約者に解除の通知をします。ただし、保険契約者またはその住所若しくは居所が不明、その他正当な事由によって保険契約者にこれを通知できない場合は、被保険者または保険金受取人に解除の通知をします。
5. 本条の規定によって保険契約を解除した後に、解除した日以降に到来する払込期月に対応した保険料相当額を会社が取受したときは、保険契約者に返還します。

第10条（加入条件違反による解除ができない場合）

1. 前条の規定にかかわらず、会社は、次のいずれかに該当する場合には保険契約を解除できません。
 - (1) 会社が、保険契約締結の際、解除の原因となる事実を知っていたかまたは過失のため知らなかったとき。
 - (2) 会社が解除の原因となる事実を知った日の翌日からその日を含めて1ヵ月を経過したとき。
 - (3) 当社の少額短期保険契約の締結の媒介を委託した少額短期保険募集人（以下、本条において「保険募集人」といいます。）が、保険契約者または被保険者が第8条の加入条件に合致しなくても加入できると勧めたとき。
 - (4) 保険募集人が、保険契約者または被保険者に対し、第8条の告知をしないことを勧めたとき、または事実でないことを告げることを勧めたとき。

- (5) 保険契約が責任開始日からその日を含めて2年（更新により契約を継続している期間を含む）を超えて有効に継続したとき。ただし、責任開始日からその日を含めて2年以内に保険金の支払事由が発生し、かつ解除の原因となる事実があるときを除きます。
2. 前項第3号の規定は、当該各号に規定する保険募集人の行為がなかったとしても、保険契約者または被保険者が、第8条の規定により会社が加入条件を求めた事項について、事実を告げなかったかまたは事実でないことを告げたと認められる場合は、適用しません。

第11条（重大事由による解除）

1. 会社は、次の各号のいずれかに定める事由が生じた場合、この保険契約を将来に向かって解除することができます。
- (1) 保険契約者または保険金受取人が、この保険契約の保険金を詐取する目的または他人に保険金を詐取させる目的で事故招致（未遂を含みます。）をした場合。
- (2) この保険契約の保険金の請求に関し、保険金受取人の詐欺行為（未遂を含みます。）があった場合。
- (3) 保険契約者、被保険者または保険金の受取人が、次のいずれかに該当する場合。
- ア. 反社会的勢力（注）に該当すると認められること。
- イ. 反社会的勢力（注）に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められること。
- ウ. 反社会的勢力（注）を不当に利用していると認められること。
- エ. 保険契約者または保険金の受取人が法人の場合、反社会的勢力（注）がその法人の経営を支配し、またはその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
- オ. その他反社会的勢力（注）と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。
- （注）暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含みます。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力をいいます。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、会社の保険契約者、被保険者または保険金の受取人に対する信頼を損ない、この保険契約の存続を困難とする前各号と同等の重大な事由がある場合。
2. 会社は、保険金の支払事由が発生した後でも、前項の規定によってこの保険契約を解除することができます。この場合、会社は、前項各号に定める事由の発生後に生じた事由による保険金（注）を支払いません。既に保険金を支払っていたときは、その返還を請求することができます。
- （注）（3）のみに該当した場合で、（3）アからオまでに該当したのが保険金受取人のみで、その保険金の受取人が保険金の一部の受取人であるときは、保険金のうち、その受取人に支払われるべき保険金をいいます。
3. 本条による解除は、保険契約者に対する通知によって行います。ただし、正当な事由によって保険契約者に通知できない場合、会社は、被保険者または保険金受取人に通知をします。
4. 第1項の規定により保険契約を解除した場合、保険契約を解除した日以降に到来する払込期月に対応した保険料相当額を会社が取受したときは、保険契約者に返還します。

6. 保険料の払込、払込の猶予および保険契約の失効

第12条（保険料の払込回数）

1. 保険料の払込回数は年払・月払のいずれかとします。

第13条（保険料の払込方法）

1. 会社が保険契約の申込みを承諾した場合、保険契約者は、第14条に定める払込み方法（経路）に従い、第1回保険料を会社の定めた日（以下「口座振替日」といいます。口座振替日は26日とします。）に口座振替で払込みもしくは、会社の提携するカード支払となります。
2. 第1回保険料が払い込まれなかったとき、保険契約は成立しません。この場合、会社は文書で契約者に通知します。
3. 第2回以後の保険料については、第14条に定める払込み方法（経路）に従い、払込期月内の口座振替日の口座振替もしくはカード支払となります。ただし、当該口座振替日が第14条に定める提携金融機関等の休業日に該当する場合には、その日に次ぐ営業日に口座振替を行います。
4. 第1項および前項で払い込むべき保険料は、保険期間に相当する保険料とします。
5. 第1項および第3項の規定に従い口座振替もしくはカード支払が出来た場合は、保険料が払い込まれたものとします。
6. 第3項の規定に従い保険料が月単位の口座振替日に払い込まれるかカード支払がされ、かつ、その月単位の口座振替日も

しくはカード支払日の前日までに保険契約が消滅した場合には、会社は、その払い込まれた保険料相当額を保険契約者に払い戻します。

第14条(保険料の払込方法<経路>)

1. 保険契約者は、次のすべての条件を満たす口座振替もしくはカード支払により保険料の支払ができます。
 - (1) 保険契約者の指定する口座(以下「指定口座」といいます。)が、会社と口座振替の取扱を提携している金融機関等(以下「提携金融機関等」といいます。この場合、会社が保険料の収納業務を委託している機関の指定する金融機関等を含みます。)に設置してあること。
 - (2) 保険契約者が、提携金融機関等に対し、指定口座から会社の口座(提携金融機関等が、会社が保険料の収納業務を委託している機関の指定する金融機関等の場合には、当該委託している機関の口座)へ口座振替を委託すること。
2. 同一の指定口座から2件以上の保険契約の保険料を振り替える場合、保険契約者は、会社に対しその振替順序を指定できないものとします。
3. 保険契約者は、払い込むべき保険料相当額を、あらかじめ指定口座に預入しておくこととします。
4. 保険契約者は、指定口座を同一の提携金融機関等の他の口座に変更することができます。また、指定口座を設置している提携金融機関等を他の提携金融機関等に変更することができます。この場合、あらかじめ会社および当該提携金融機関等に申し出てください。
5. 保険契約者が口座振替の取扱を停止する場合、あらかじめ会社および当該提携金融機関等に申し出てください。
6. 保険契約者から口座振替を委託された提携金融機関等が口座振替の取扱を停止した場合、会社は、その旨を保険契約者に通知します。この場合には、保険契約者は、新たに他の提携金融機関等に口座振替を委託してください。
7. 会社は、会社または保険契約者から口座振替を委託された提携金融機関等のやむを得ない事情により、振替日を変更することができます。この場合、会社は、あらかじめその旨を保険契約者に通知します。
8. 指定口座または提携金融機関等の変更の際し、その変更の手續が行われなまま口座振替が不能となった場合、本条第4項および第15条第2項の規定に準じて取り扱います。
9. 保険契約者はカードで保険料を支払う場合、会社の提携する保険契約者の指定したカード会社の規約に基づき支払うものとします。
10. 保険契約者が会社に申し出をしない限り、保険料は、契約者の指定したカードで継続して支払うものとします。
11. 保険契約者は会社が提携する契約者の指定カード発行会社により、契約者が会社に届け出た会員番号・有効期限が更新された場合でも保険料を支払うものとします。
12. 保険契約者は、カードの会員番号や有効期限が変更された場合、速やかに会社に通知するものとします。
13. 保険契約者は、カードが利用不能になった場合、他の利用可能なカードもしくは会社の提供する他の精算方法に変更するものとします。
14. 保険契約者がカードで支払った保険料について、会社は領収書を発行しません。

第15条(保険料払込の猶予期間および保険契約の失効)

1. 会社は、第2回目以後の保険料の払込について、口座振替日もしくはカード支払日の属する月の翌月の末日まで猶予期間を設けます。
2. 口座振替日に口座振替が不能となった場合、会社は、翌月分の保険料の口座振替日に翌月分の保険料と併せて口座振替を行います。ただし、口座振替は1ヵ月分ずつ行い、その際1ヵ月分だけ振り替えられたときは当月分に充当し、新たに翌月分について猶予期間を設定します。
3. 猶予期間内に保険料が払い込まれないとき、保険契約は、猶予期間満了の日の翌日から効力を失います。この場合、会社はその旨を保険契約者に通知します。

第16条(保険料払込の猶予期間中の保険事故)

1. 保険料払込の猶予期間中に保険金の支払事由が発生した場合、保険契約者は、払込期日が到来した保険料を払い込む必要があります。ただし、保険金受取人から申し出があった場合に限り、会社は、その支払うべき金額から未払込保険料を差し引きます。

7. 保険契約の復活

第17条（復活）

1. 保険契約の効力を失った場合、保険契約を復活することはできません。

8. 契約者配当金

第18条（配当金）

1. この保険契約に契約者配当金はありません。

9. 保険契約の解約または口数の変更

第19条（解約または口数の変更）

1. 保険契約者は、いつでも将来に向かって、保険契約の解約または口数を減少することができます。年払で口数を減じる場合は、保険契約の更新時のみ取り扱います。
2. 前項の規定により保険契約を解約または口数を減少する場合には、会社所定の書面をもって通知し、その書面には、解約日もしくは変更日を記載しなければなりません。
3. 保険契約の解約もしくは口数を減じる場合の保障は、書面に記載された解約日かその書面が会社に到達した日のいずれか遅い日の午前0時までとします。
4. 保険契約を解約または口数を減じた場合、月払契約の場合は、解約または口数の減少に伴う解約返戻金はありません。年払保険料の場合は、保険契約の年単位の契約応当日からの経過月数に応じた解約返戻率（下表）を乗じて算出した解約返戻金を返戻いたします。ただし、返戻金の単位は、1円位を四捨五入して10円単位とします。

解約返戻率表

経過月数	返戻率	経過月数	返戻率
1	0.733	7	0.333
2	0.667	8	0.267
3	0.600	9	0.200
4	0.533	10	0.133
5	0.467	11	0.067
6	0.400	12	0.000

5. 保険料の支払日までに解約された場合でその支払日に口座振替またはカード支払の処理が止められず保険料を徴収したときは、保険契約者に返金します。

10. 保険金の支払の時期および場所

第20条（保険金の支払時期、場所）

1. 保険金は、その請求書類（完備した状態）が会社に到達した日の翌日から起算して5営業日以内に、会社の本店で支払います。
2. 保険金を支払うために事実の確認が必要な次の各号に掲げる場合において、保険契約の締結時から保険金請求時までの間に、会社に提出された書類のみでは確認ができないときは、それぞれ当該各号に定める事項の確認（会社が指定した医師による診断を含みます。）を行います。この場合、前項の規定にかかわらず保険金を支払うべき期限は、その請求に必要な書類が会社の本店に到達した日の翌日から起算して45日を経過する日とします。

- (1) 保険金の支払事由発生の有無の確認が必要な場合、
第5条第1項に定める保険金の支払事由に該当する事実の有無
 - (2) 保険金の支払の免責事由に該当する可能性がある場合、
保険金の支払事由が発生した原因
 - (3) 加入条件非該当にあたる可能性がある場合、
会社が加入条件に合致することを求めた事項が非該当に至った原因
 - (4) この約款に規定する重大事由、詐欺または不法取得目的に該当する可能性がある場合、前2号に規定する事項または保険契約者、被保険者もしくは保険金受取人の保険契約締結の目的または保険金の請求の意図に関する保険契約の締結時から保険金の請求までにおける事実
3. 前項の確認を行うために、以下の各号に掲げる事項について特別な照会や調査が不可欠な場合には、前2項にかかわらず保険金を支払うべき期限は、その請求に必要な書類が会社の本店に到達した日の翌日から起算して当該各号に規定する日数（各号のうち複数に該当する場合であっても、180日）を経過する日とします。
- (1) 前項第1号、第2号または第4号に定める事項についての弁護士法（昭和24年法律第205号）に基づく照会その他の法令に基づく照会・・・・・・・・180日
 - (2) 前項第1号、第2号または第4号に定める事項についての学究機関等の専門機関による医学または工学等の科学的技術的な特別な調査、分析または鑑定・180日
 - (3) 前項第1号、第2号または第4号に定める事項についての保険契約者、被保険者または死亡保険金受取人を被疑者として、捜査、起訴その他刑事手続が開始されたことが報道等から明らかな場合における、前項第1号、第2号または第4号に定める事項に関する、送致、起訴、判決等の刑事手続の結果について、警察、検察等の捜査機関または裁判所に対する照会・・・・・・・・180日
 - (4) 前項各号に定める事項についての日本国外における調査・・・・・・・・180日
4. 前2項に掲げる事項の事実の確認に際し、保険契約者または保険金の受取人が正当な理由なく当該確認を妨げ、またはこれに応じなかったとき（会社が指定した医師による必要な診断に応じなかったときを含みます。）は、会社は、これにより当該事項の確認が遅延した期間の遅滞の責任を負わず、その間は保険金を支払いません。
5. 第2項または第3項の場合には、保険金を支払うために確認が必要な事項および保険金を支払うべき期限を、会社は、保険金を請求した者に通知します。
6. 第1項から第3項に定める期日をこえて保険金を支払う場合、会社は、その期日の翌日から会社所定の利率で計算した遅延利息を保険金の受取人に支払います。ただし、第4項の定めにより生じた確認が遅延した期間について、会社は、遅延利息を支払いません。

11. 契約内容の変更

第21条（保険契約者の変更）

1. 保険契約者（その継承者を含みます。）は、被保険者の同意および会社の承諾を得て、保険契約上の一切の権利義務を三親等以内の親族に継承させることができます。
2. 保険契約者の変更は、保険証券に裏書を受けてからでなければ会社に対して効力を生じません。

第22条（保険契約者の住所の変更）

1. 保険契約者が住所または居所（通信先を含みます。以下本条において同様とします。）を変更したときは、直ちに会社の本社または会社の指定した場所に通知してください。
2. 保険契約者が前項の通知をしなかったときは、会社が知った最終の住所または居所あてに発した通知は、保険契約者に到達したものとみなします。

第23条（保険金受取人の指定・変更）

1. 保険契約者またはその継承人は、保険金の支払事由が発生するまでは、被保険者の同意を得て、会社に対する通知により、被保険者の三親等以内の親族を保険金受取人として指定・変更することができます。また、会社は以下の場合に限り、保険契約者またはその継承人から会社所定の書類（第28条）の提出を受け、審査の後に三親等以内の親族以外を保険金受取人として指定・変更を受けることがあります。
 - (1) 内縁関係の場合（内縁関係を立証する公的証明書の写しもしくは事実婚を立証する書類の写し）

- (2) L G B Tパートナーの場合（同性パートナーシップ関係を立証する証明書の写し）
 - (3) 高齢者およびおひとり様等で三親等以内の親族がない場合もしくは三親等以内の親族と特別な事情があり世話が受けられない場合（三親等以内の親族がない証明書の写しもしくは死後事務委任契約や保険金直接支払サービス特約を契約している場合）
2. 保険金受取人の死亡時以後、保険金受取人の変更が行われていない間に保険金の支払事由が発生したときは、保険金受取人の死亡時の法定相続人（法定相続人のうち死亡している者があるときは、その者については、その順次の法定相続人）で、保険金の支払事由の発生時に生存している者を保険金受取人とします。これにより保険金受取人となった者が2人以上いる場合、各受取人の受取分は、平等の割合とします。
 3. 保険金受取人の指定・変更は、会社所定の書類（第28条）をもって、その旨を通知してください。
 4. 前項に規定する書類が会社に到達する前に、変更前の保険金受取人に保険金を支払ったときは、その支払後に変更後の保険金受取人から保険金の請求を受けても、会社はこれを支払いません。

第24条（遺言による保険金受取人の変更）

1. 前条に規定するほか、保険契約者は、保険金の支払事由が発生するまでは、法律上有効な遺言により、保険金受取人を変更することができます。
2. 前項の保険金受取人の変更は、被保険者の同意がなければ、効力は生じません。
3. 前2項の規定による保険金受取人の変更は、保険契約者が死亡した後、保険契約者の相続人が会社に通知しなければ、会社に対抗することができません。

第25条（保険金受取人の代表者）

1. 保険金受取人が2人以上のときは、代表者1人を定めてください。この場合、その代表者は、他の保険金受取人を代理するものとします。
2. 前項の代表者が定まらない場合またはその所在が不明である場合、会社が保険金受取人の1人に対してした行為は、他の者に対しても効力を生じます。

12. 年齢の計算・年齢および性別の誤りの処理

第26条（年齢の計算）

1. 被保険者の年齢は、契約日における満年齢で計算し、1年未満の端月数は切り捨てます。

第27条（年齢および性別の誤りの処理）

1. 保険契約申込書に記載された被保険者の年齢に誤りがあった場合、契約日および誤りの事実が発見された日における実際の年齢が、会社の定める範囲外であったときは、保険契約を取り消すことができるものとし、既に払い込まれた保険料を保険契約者に払い戻し、その他のときは、実際の年齢に基づいて保険料を更正し、既に払い込まれた保険料の差額を精算します。
2. 保険契約申込書に記載された被保険者の性別に誤りがあった場合には、実際の性別に基づいて保険料を更正し、既に払い込まれた保険料の差額を精算します。

13. 保険金等の請求手続

第28条（請求手続）

1. 保険契約者または保険金受取人は、保険金の支払事由が生じたことを知ったときは、遅滞なくその旨を会社に通知してください。
2. この普通保険約款に基づく支払および変更等については、次の表に定める書類を提出して請求してください。

項目	提出書類
1. 死亡保険金の請求	(1) 会社所定の請求書 (2) 医師の死亡診断書または死体検案書 (3) 死亡保険金受取人の戸籍謄本および印鑑証明書 (4) 保険証券
2. 保険契約者または保険金受取人の変更	(1) 会社所定の請求書 (2) 保険証券 (3) 事情報告書

3. 会社は、前項の提出書類の一部の省略を認め、または前項の書類以外の書類の提出を求めることがあります。

14. 時効

第29条（時効）

1. 保険金およびその他の払戻金を請求する権利は、その支払事由の発生日の翌日からその日を含めて、3年間これを行行使しなかったときは、時効によって消滅します。

15. 保険期間中の保険料の増額または保険金の減額

第30条（保険料の増額または保険金の減額）

1. この保険の収支状況が予定したものより著しく悪化した場合は、会社の定めるところにより、この保険契約について、保険期間における残余期間に対応する保険料を増額し、または保険金の支払額を減額することがあります。
2. 保険金の支払事由が集中して発生し、保険金を支払うための財源が不足する場合は、会社の定めるところにより、保険金の支払額を減額することがあります。

16. 保険契約の更新

第31条（契約の更新）

1. この保険契約の保険期間が満了する場合、会社は、保険期間満了日の2ヵ月前までに更新後の契約内容等を通知し、保険契約者が、保険期間満了1ヶ月前までに保険契約を継続しない旨を通知しない場合、保険契約は、更新されるものとします。
2. 保険契約者は、更新時に保険金の口数を減じることができます。
3. 会社は、第1項の書類を保険契約者に送付する際、この保険の収支状況を検証した結果、保険料の計算基礎を変更する必要がある場合、会社の定めるところにより、更新後の保険契約の保険料の増額または保険金額の減額を行うことがあります。この見直しは、更新後の保険契約の保険期間の初日から適用します。またこの保険の収支状況を検証した結果、この保険の採算が取れなくなった場合、会社の定めるところにより、更新後の保険契約を引き受けないことがあります。
4. 保険契約の更新を希望しないとき、保険契約者は保険期間の満了日の1ヵ月前までに保険契約を継続しない旨を通知してください。
5. 保険契約の更新を希望する場合で、第1項の「更新後の契約内容を記載した更新案内」の記載事項に変更すべき事項があるときは、保険契約者は「更新契約の内容変更通知書」に変更事項を記載し、保険期間満了日の1ヵ月前までに会社に返送してください。
6. 会社が第1項の書類を送付した場合、保険期間満了日1ヵ月前までに被保険者が保険契約の更新について同意しない意思表示、または保険契約者が保険契約を更新しない意思表示を行わない限り、被保険者の健康状態に関する告知を求めず、第1項の「更新後の契約内容を記載した更新案内」に基づき保険契約を更新します。
7. 更新後の保険契約の保険期間は、更新前の保険契約の保険期間と同じとします。

8. 更新された保険契約の保険料は、更新時の被保険者の男女別・年齢別によって計算します。
9. 会社は、更新後の保険契約の第1回保険料が払い込まれたとき、更新契約が成立したものとし、更新後の保険契約の契約日から更新後の保険契約上の責任を負います。
10. 前項の場合、第15条および第16条の規定を準用します。
11. 会社は、次のいずれかに該当する場合、保険契約の更新を取り扱いません。
 - (1) 更新日における被保険者の満年齢が100歳以上のとき。この場合、会社は、保険契約を更新しない旨を通知します。
 - (2) 保険契約の更新時に、会社がこの保険を取り扱っていないとき。
12. 本条の規定により保険契約が更新された場合、更新後の保険契約については、第5条（保険金の支払）第1項に規定する死亡保険金の免責事由中、「責任開始日から3年以内の被保険者の自殺」は適用しません。

17. 保険の種類の変更

第32条（種類の変更）

1. 会社は、この保険の保険種類の変更は取り扱いません。

18. 管轄裁判所

第33条（管轄裁判所）

1. この保険契約における保険金の請求に関する訴訟については、会社の本社または保険金の受取人（保険金の受取人が2人以上いるときは、その代表者とします。）の住所地を管轄する高等裁判所（本庁とします。）の所在地を管轄する地方裁判所（本庁とします。）をもって、合意による管轄裁判所とします。ただし、責任開始日（更新契約を除きます。）から、その日を含めて1年以内に発生した事由に基づく保険金の請求に関する訴訟については、会社の本社の所在地を管轄する地方裁判所のみをもって、合意による管轄裁判所とします。

19. 保険契約の特約に関する事項

第34条（保険金直接支払サービス特約の目的）

1. 本特約は、保険契約者および被保険者が主契約に付加することにより、会社が指定した提携事業者から、葬儀または墓地・埋葬等の財・サービスの内容の事前予約や情報提供を受け、被保険者の保険金事故があった際、そのサービスの提供を受ける代わりに、財・サービスの提供にかかる費用を保険契約者が契約した保険契約金額の範囲内で、会社が提携事業者に直接支払うことにより、保険契約者、被保険者、保険金受取人が希望するサービスの受益およびその利便性を向上させることを目的とします。

第35条（提携事業者）

1. 提携事業者とは会社が指定した、葬儀または墓地、埋葬等の財・サービスの提供（以下、「葬儀施行等」といいます。）を行う葬儀事業者ならびに墓地、埋葬等に関わる事業者（以下、「埋葬事業者」といいます。）をいいます。

第36条（提携事業者の指定および再委託）

1. 提携事業者の指定は、葬祭事業者ならびに埋葬事業者が営業を行う地域の施行実績等を考慮して会社の定めるところにより行います。
2. 提携事業者が葬儀施行等の提供が困難になったとき、会社は、すみやかに保険契約者または、被保険者および保険金受取人に通知いたします。この場合、予め保険契約者または、被保険者および保険金受取人と協議のうえ、会社は、別の事業者（提携事業者と同等もしくはそれ以上の施行能力を有する事業者）を斡旋します。その際、保険契約者または、被保険者および保険金受取人は斡旋を受けるか、または本特約の解除のいずれかを選択できます。

第37条（特約の締結）

1. 保険契約者および被保険者は、主たる保険契約（以下「主契約」といいます。）締結の際、会社および提携事業者の承諾を得て、本特約を無料で主契約に付加できます。
2. 保険契約者および被保険者は、保険契約期間中であればいつでも特約を無料で付加することができます。この場合は、特約申込書に必要事項を記入し、署名・捺印して申し込むことを要します。

第38条（葬儀施行等の費用の支払）

1. 会社は普通保険約款に定める保険金の請求があった場合、保険証券記載の死亡保険金額を保険金受取人の支払指図書により、保険金請求書記載の提携事業者に支払います。その際、葬儀施行等の費用が保険証券記載の死亡保険金額より少ない場合、会社は、その差額を保険金受取人に支払います。

第39条（特約の解除）

1. 保険契約者または被保険者および保険金受取人は、保険金の支払事由の発生前および発生後もこの特約を解除することができます。

第40条（特約の更新）

1. 主契約が更新された場合、本特約は、主契約とともに特約の保険契約満了日の翌日に更新されたものとします。また、主契約が更新されないときは、この特約も更新されません。

第41条（特約の消滅）


1. 主契約が消滅したときは、本特約も消滅いたします。

第42条（普通保険約款の規定の準用）

1. この特約に別段の定めのない場合は、普通保険約款の規定を準用します。

■お問い合わせは

■引受保険会社

 関東財務局長(少額短期保険)第52号
あんしん少額短期保険株式会社

〒330-0855 埼玉県さいたま市大宮区上小町535

あんしん少短ホームページ <http://www.ansin-ssi.com/>

フリーダイヤル
通話料無料

 **0120-685-336**

受付時間: 平日9:00~17:00(土・日・祝祭日及び年末年始を除きます)